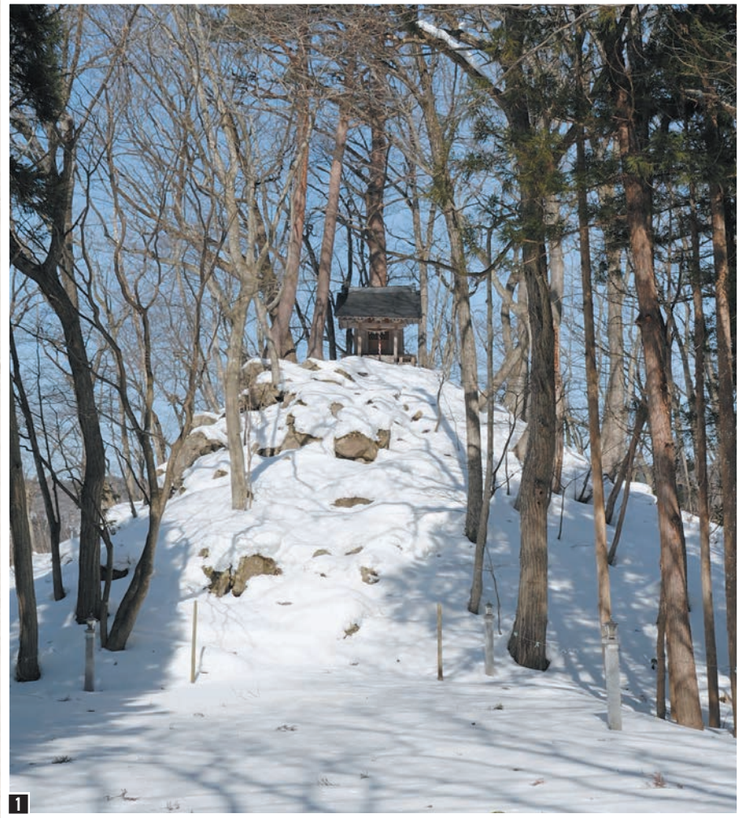
広報 おうしゅう
Vol.145 2018 3
□発行日／3月8日　□発行／奥州市　〒023－8501 奥州市水沢区大手町1－1　□電話／0197－24－2111　□編集／総務企画部政策企画課　□印刷／あべ印刷㈱



1国道397号横の「愛宕山神社」の看板が目印。雪の下には無数の巨岩が積み重なり、小山をなしている　2岩山の上の社。昭和31年に衣川区増沢からも愛宕社が移ってきて、ここに合祀されている

Oshu Heritage

# 奥州遺産 No.90

## ～ときを越え 受け継がれるもの～

### 愛宕社

＝胆沢区若柳字愛宕＝

胆沢区の愛宕地区の住宅密集地の西に、愛宕社はある。社は、愛宕森と称される高さ15㍍程の岩の上にあり、この岩山とその付近が祭神である。

愛宕森のような岩山は周囲になく、自然物なのか人工物なのかと、その異質さが多くの人の興味を引いている。胆沢の民話によれば、秋田三吉という力持ちが一夜で富士山をまねた山を作ろうとしたことがあり、夜が明けたときに背負っていた石塊を投げ出したものがこの岩山になったという。

元々この付近には民家がなく、愛宕原と呼ばれる松林と原野が広がる地であった。明治になり、ここに愛宕小学校の前身である分教場が建設されると民家が増え、今のような街並みが形成されるに至った。愛宕の地名は、この愛宕社に由来するものである。平成10年に現在の形に整備され、地域のシンボルとして愛されている。

広告

※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約32円です。】